

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月17日

計画の名称	2 駅等へのアクセス向上に資する道路整備計画												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	横浜市												
計画の目標	連続立体交差事業や鉄道駅の新設・大規模改修事業に併せた駅アクセス道路等の整備により、地域連携の強化及び駅等への所要時間の短縮を図ります。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	47,635	A	47,635	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	川崎市境から新横浜駅への所要時間を約11分短縮させる。 川崎市境から新横浜駅への所要時間	36分	30分	25分
2	「最寄り駅周辺の整備」に係る市政への満足度を4ポイント増加させる。 横浜市民意識調査における「最寄り駅周辺の整備」に係る市政への満足度	20%	22%	24%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	鴨居上飯田線	バイパス 1.6km	横浜市						1,755	-	
	A01-002	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	星川停車場線ほか1	バイパス 0.6km	横浜市						660	-	
	A01-003	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	金沢シーサイドライン	新交通システム 0.3km	横浜市						200	-	
	A01-004	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	宮内新横浜線ほか1	バイパス 2.6km	横浜市						2,050	-	
	A01-005	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	東京丸子横浜線(綱島地区)	現道拡幅 1.0km	横浜市						42,970	9.3	-
												小計						47,635	
												合計						47,635	

計画の名称	2 駅等へのアクセス向上に資する道路整備計画		
計画の期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)	交付対象	横浜市



事前評価チェックシート

計画の名称： 2 駅等へのアクセス向上に資する道路整備計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性・円滑な事業執行の環境 1) 全体事業費・要素事業の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性・円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○